

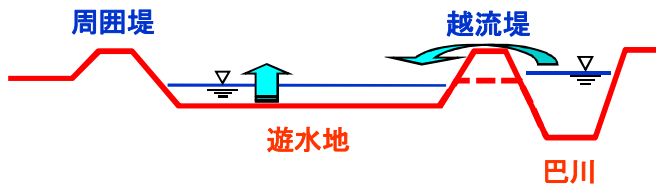
浸水原因の考察

(治水施設の整備効果)

巴川総合治水対策事業の整備効果(大内遊水地)

- ◆ 大内遊水地に最大**約90m³/秒**の洪水が流入したと想定される。
- ◆ 大内遊水地下流の能島水位観測所地点において最大**約0.8m**の水位低減効果があったと想定される。

イメージ図



遊水地の機能は・・・

河川を流れる洪水を越流堤部から引込み一定期間貯留することで、下流へ流れる洪水量（負荷）を軽減します。

大内遊水地への越流状況



能島水位観測所位置図



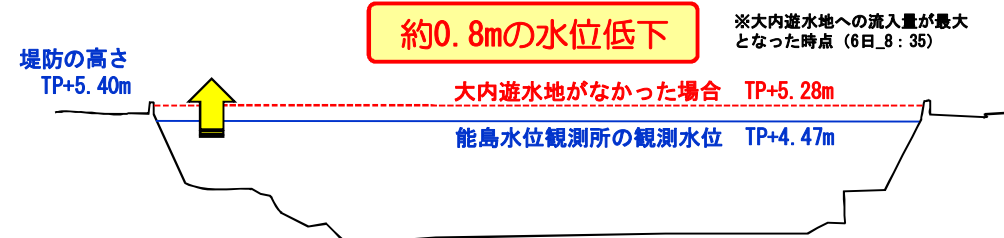
平成26年10月6日の出水状況



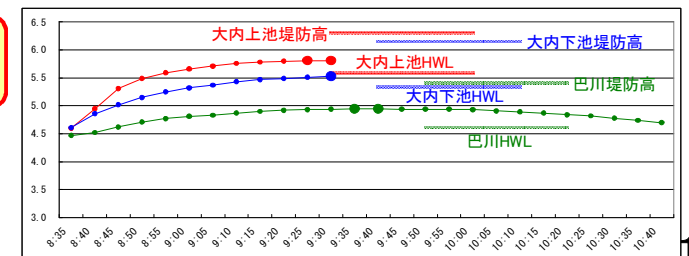
大内遊水地

能島地点の横断面図

※大内遊水地が無かった場合、遊水地に流入した洪水を全て河道で処理すると仮定した簡易的な計算による試算値であり、今後詳細なシミュレーションによる効果検証を実施



最大水位 < 堤防高
4.94 5.40

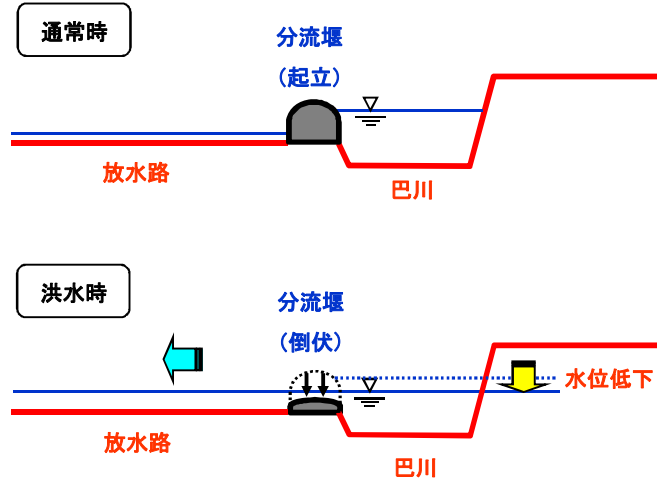
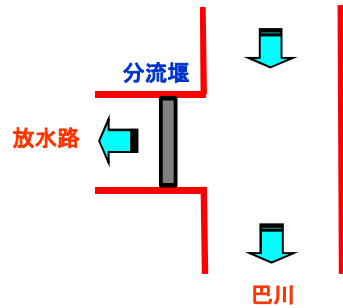


巴川総合治水対策事業の整備効果(大谷川放水路)

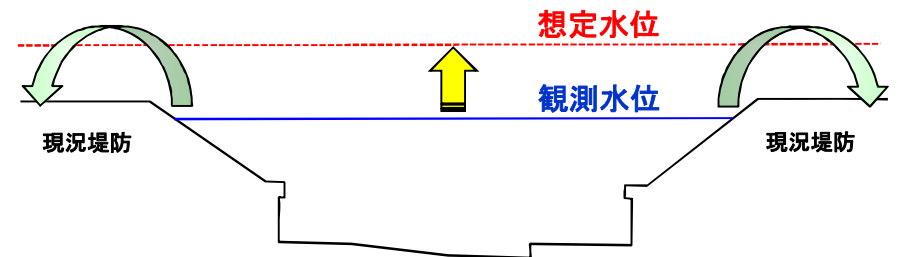
- ◆ 大谷川放水路に最大約 $140\text{m}^3/\text{秒}$ の洪水を分派したと想定される。
- ◆ 大谷川放水路が無かった場合、下流側で洪水氾濫が発生したと想定される。

放水路の機能は・・・

巴川の水位が上昇すると分流堰が倒れ、
巴川の洪水を大谷川放水路に分流する
ことで、下流へ流れる洪水量（負荷）
を軽減します。



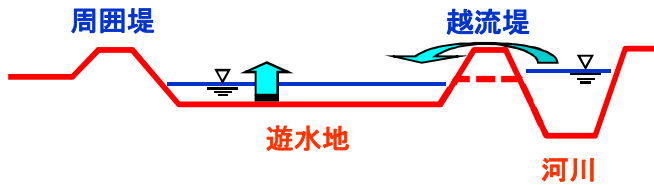
分流部下流地点のイメージ図



巴川総合治水対策事業の整備効果(麻機遊水地)

- ◆ 麻機遊水地第1工区、第3工区、第4工区に最大約 $170\text{m}^3/\text{s}$ の洪水が流入したと想定される。
- ◆ 麻機遊水地が無かった場合、下流側で洪水氾濫が発生したと想定される。

イメージ図



遊水地の機能は・・・

河川を流れる洪水を越流堤部から引込み一定期間貯留することで、下流へ流れる洪水量（負荷）を軽減します。

第3工区への越流状況



上土水位観測所位置図



平成26年10月6日の出水状況



上土地点のイメージ図

